「ああい

い気味だ。

上^ぁが

て喜び

ま

お

じいさん

は 躍^おど

l)

その

わな

か

りま

ある日、

たぬきはとうとう

楠 山正雄

あるところに、 さんとおば あさん

りました。 おじ いさんが も畑に 出て働い ます

と、 裏の山から 一ぴきの古だぬきが出てきて、 おじ いさん

せっ く丹精を-たんせい してこしらえた畑のものを荒ら た上に

んどん石ころや土くれをおじいさん のうしろから投げ けま

した。 おじいさんがおこって追っ かけますと、 すばや 逃げ

来^きて、

あい

かわらず

て行

て

しまいます。

ばら

くするとまたや

おじいさんも困りきっ

て、

いたずらをしました。

わなをかけておきますと、

「UD デジタル教科書体」サンプル(B5 判:22pt)

楠

山正雄

さく

すと ろに だぬきが出てきて、 かヾ か あ 裏^うの も畑に出て働い りました。 おじいさんとおばあさ むかし、 Ш から おじ ぴきの あるとこ て さん ま

ますと、 ろ お や土くれをおじいさんのう さ から投げつけました。 てこしらえた畑のはたけ しまいます。 した上に、 いさんがせっ がおこって追 すばや どんどん石ころ く逃げて行 しばらくする 0 か ものを荒 、丹精を か、 お け つ

喜^{ょろこ} ま をかけ らず か たぬきはとうとうそのわなに とまたやっ か、 おじ さんも困りきって、 りました。 いたずらをしま ておきますと、ある日、 くさんは躍れ て来きて、 1) した。 あ かヾ () わな か、 お

「ああ

(,

い気味だ。

かまえて

や

つ

た。

こう言って、

たぬきの

四ょ



じいさんも困

[りきっ

たずらをしました。

来て、

あいかわらず

ばら

て働いていますと、ばあさんがありまし えた畑のものを荒らした上に、出てきて、おじいさんがせった む か、 裏うたの あるところに、 山から一 おじいさん か、 どんどん石ころやしたんせいかく丹精をしてこしたたんせい かヾ お いつも畑に出いてもといさんとお



逃げて行って上追っかけますと

かけますと、

から投げ

つけま

した。

じいさんがおこって

れをお

じいさんのう

「UD デジタル教科書体」サンプル(A4 判:30pt)

「UD デジタル教科書体」サンプル(A4 判:30pt)

ジャックと豆の木

楠山正雄 さく

クをあいてに、 か のことでございます。 とりむすこですし、 む か、 む か、 やもめ さびし **の** ギ それ 女 くら の ス ド の ひ して 大昔、 と ず かヾ の い。 いました。 都からとお 5 ア h いさ ル の んきで、 むすこの か けがえのな は な 大 王 ずぼらで れ の 御 ヤ (1 W な

から、 なまけ それこそ目の 母親は、 もの に かわ あけてもくれても、 たが かヾ 中にでも入れて て、 ほ h なんにも は気だ しま ヤ て ツ た 0 ク さ ヤ ツ クと 子 () た つ

しごとはさせず、ただ遊ばせて

おきました。

こんなふうで、

のらくらむすこを

やもめの人は、どうかかえた上に、この

ものか運がわるくて、



ジャックと豆の木

楠山正雄

ド 代 大昔、 いなかのこやに、 ことでございます。 か アルフ 都 むか からとおく ツ ド大王 やもめの イギリ はな ス 女 御 0

ジャ え したが、 ひ 0 ずぼらで、 Ś ツ と それに、 な クをあいてに、 か、 していました。 ほんとうは気だての ひ 5 とりむすこで ずいぶんの (, さ なまけも () む さび すこ かけ んき 0 す

いたいくらいにかわいがって、ジャックといって、ジャックといって、それは、あけてもくれても、ジャッやさしい子でしたから、母親

のが足りな

くなるば

か

IJ

あ

て、なんにもしごとはさせず、ただ遊ばせておきました。このやもめの人は、どういうががれた上に、のらくら

ま

た

か、

わ

(1

かヾ

て、

それこそ目の

中

ŧ

ク

と

て

ŧ

ジャ

ツ

ク、

な

ŧ

楠 山正雄

ち お 王 の む 御 さ か は 代 な むすこのジ の む た か、 とでござ (, な か の ギ ヤ ツ (, ます。 や ス クをあ に、やもめの の 大昔、 いてに、 ロンドン ア 女の さび の都からと ひとが、 ツ

もので いま た から、 た か、 ず た。 ほ 母 親 h か け は とう がえの **の** んきで、 は気だてのやさしい あけても な ず ひ ぼらで、 IJ むすこです なまけ



[使用フォント] UD デジタル教科書体 R UD デジタル教科書体 M UD デジタル教科書体 B UD デジタル教科書体 H

なると わに らくだ はさみ さかな かえる サ ラ ナ 力 ヤ 9 7 マ ひまわ (i) ちーず きりん チ シ IJ L る | ペ (シ) ね (t) るく つみき くるま ゆきだるま ヌ ほんをよむ ツ 7 ヲ ル ユ ス ウ ネ てんと () セ X 000 ろけっと もっきん (Z) - U -ぱん (II) L のりまき とけい そば モ 日 ホ

11/11

プ

~

ポ

ぼ

グ

ゲ

ゴ

ザ

ジ

ズ

ゼ

11

ば

"C"

ベ

ボ

ぼ

バ

だくて

はんだくて

*

の

本で

ならう

か

ん字

読み方 は、

ならうも

[使用フォント] UD デジタル教科書体 R UD デジタル教科書体 M UD デジタル教科書体 B

UD デジタル教科書体 H

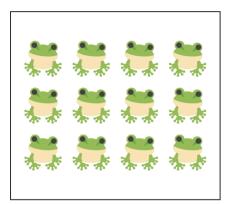
1から20までの かず



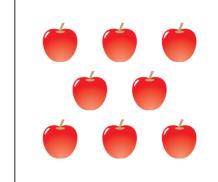
てん

()に かずを かきなさい。(ID874/1674)





(12)ひき



(8)

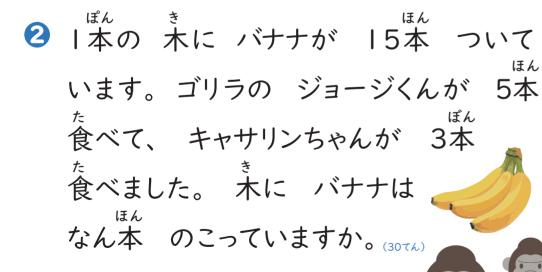


1から20までの数を使い、順序や集まり、数の合成、分解などを 通じて記数法が、理解できるようにします。

③ □に かずを かきなさい。(1つ5でん/30でん)

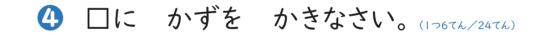






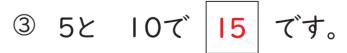
しき 15-5-3 (7本





6 で 16です。





13は 5と 5と



